

「若い人たちに医学史を伝えるために」

司会 大村 敏郎

松木会長から「何故若い医師たちは医学史を勉強しないのか」というテーマのシンポジウムの司会をとうご指名を受けた。

しかし、この学会では、教育を受ける立場ではなく、教育を担当する立場の人が多いため、テーマを少し変更して「若い人たちに医学史を伝えるために」とさせていただいた。

以前にも金沢の学会で医学史教育のシンポジウムが行なわれたことがある。今回は画期的なことだが、学会員以外の演者をお願いした。東京女子医大の医学教育学の神津忠彦教授に「医学教育が医史学に期待するもの」という視点で参加していただく。

東洋医学の分野からは茨城大学の真柳誠教授に、今回の学会の地元代表として弘前大学の小谷直樹講師に、そして私自身が兼ねて西洋医学の分野から発言することになっている。会場からの活発な発言を期待している。会長の意向で、このシンポジウムは抄録を作らず、学会後に論文として記録に残したいと考えている。